

花井卓藏

はなゐ
たくざう

辯護士、政治家。慶應四年八月十一日備後國生乳

昭和六年十一月二日歿（八六一九三）。幼名熊次郎。別名と原卓藏、

と原熊吉。號神坊逸人、雅翠。三原藩士と原四郎右衛門の四男、明治

二十一年改姓。其古刑法法律學校を經て、十九年東京法學院高等科卒。

二十歳よりして辯護士試験に合格、爾來携會して著名事件多數の上る刑

事辯護の第一人者とふる。二十一年衆議院議員（當選七回）、大正四

年副議長。八年には臨時法制審議會委員とあり刑法改正案、陪審法案

等の作成に關與。法學博士、中央大學教授を務め、貴族院議員、東京

辯護士會會長に任じられた。

著書に『空前絶後之疑獄』（明治二十九年九月二十日法律顧問會・鐘

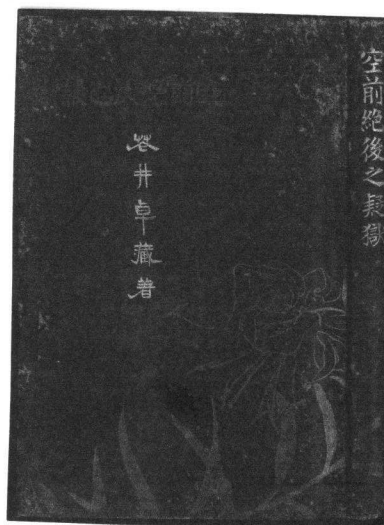
美堂書店）、『人生と犯罪』（大正二年十一月十日廣文堂書店）、『附

帶犯論』（再版・大正六年五月十七日今村力三郎刊、有斐閣）、『訟

庭論草——人肉事件を論ず。附管審鈔』（昭和六年一月二十日春秋社）、

校『大津事件顛末録』（兒島惟謙述、昭和六年十一月十五日春秋社）

等。



空前絶後之疑獄

花井卓藏著